

(仮称) 丹波市ふるさと移住促進方針策定に係る 人口移動意識調査（アンケート）結果報告書

| | | |
|------|---|----|
| 1 | 調査の概要 | 1 |
| (1) | 調査の目的 | 1 |
| (2) | 調査対象者 | 1 |
| (3) | 調査の方法 | 1 |
| (4) | 調査の期間 | 1 |
| (5) | 回答件数 | 1 |
| (6) | 留意事項 | 1 |
| 2 | 調査結果（転入者） | 2 |
| (1) | 回答者の年齢 | 2 |
| (2) | 回答者の性別 | 2 |
| (3) | 回答者の丹波市転入後の家族構成 | 3 |
| (4) | 回答者の丹波市転入後の職業 | 3 |
| (5) | 回答者のお住まいの地域 | 4 |
| (6) | 丹波市転入前の居住地 | 5 |
| (7) | 丹波市転入前の居住地での居住期間 | 6 |
| (8) | 丹波市に転入したきっかけ | 6 |
| (9) | 丹波市を転入先として選んだ理由 | 7 |
| (10) | 移住先を検討する際、丹波市以外の自治体を検討しましたか。 | 8 |
| (11) | 丹波市で住み続けていくためには、どんなことがあればいいと思いますか。 | 9 |
| 3 | 調査結果（転出者） | 13 |
| (1) | 回答者の年齢 | 13 |
| (2) | 回答者の性別 | 13 |
| (3) | 回答者の丹波市在住時の家族構成 | 13 |
| (4) | 回答者の丹波市在住時の職業 | 14 |
| (5) | 回答者の丹波市でのお住まいの地域 | 15 |
| (6) | 丹波市転出後の居住地 | 16 |
| (7) | 丹波市での居住期間 | 17 |
| (8) | 丹波市から転出したきっかけ | 17 |
| (9) | 現在の居住地を転出先として選んだ理由 | 18 |
| (10) | 移住先を検討する際、今の居住地以外の自治体を検討しましたか。 | 19 |
| (11) | これから丹波市がどうなれば、どういうことがあれば丹波市へ帰ってきたいと思いますか。 | 20 |

令和3年7月6日

丹波市ふるさと創造部ふるさと定住促進課

1 調査の概要

(1) 調査の目的

令和2年度の転入出者を対象に、その属性や移動時の状況等を明らかにし、その調査結果を（仮称）丹波市ふるさと移住促進方針の策定や移住施策等に役立てることを目的に、アンケート調査を実施したものである。

(2) 調査対象者

18歳～75歳（昭和21年4月2日から平成15年4月1日生まれ）で令和2年度中に住民基本台帳に基づく転入又は転出の届出を終了した者から、無作為抽出によって転入者500名、転出者500名、合計1,000名を調査対象者とした。

調査対象者は、1世帯につき1名まで（世帯主か否かを問わない）とし、転入前に同一世帯に属していた者が転出後に別世帯に転出した場合はそれぞれの住所ごとに別世帯として取り扱うこととした。

なお、調査対象者1,000名のうち、調査案内を郵送したものの、宛先不明等の理由により郵便返送があったものが14名（転入者2名、転出者12名）あり、実際に調査案内を郵送することができた（返送がなかった）のは、転入者498名、転出者488名、合計986名となる。

(3) 調査の方法

調査対象者にアンケートの回答方法を記載した調査案内を郵送し、回答は市公式ホームページのアンケート機能を用いて、同一のパソコンから重複回答に一定の制限を設けたうえで、実施した。

(4) 調査の期間

令和3年6月7日（月）～令和3年6月20日（日） 14日間

(5) 回答件数

181件（986人中、回答率18.4%）。うち、転入93件（498人中、回答率18.7%）転出88件（488人中、回答率18.0%）。

(6) 留意事項

本文中の設問の選択肢及び自由記述について、文字数が多いものは簡略化している場合がある。また、複数回答形式の場合、回答人数を超える場合がある。

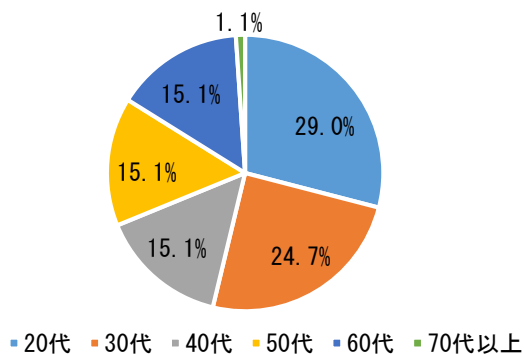
回答者が「その他」を選択した場合で、「その他」の内容についての記述から他の選択肢に合致すると判断できる場合は、「その他」ではなく当該選択肢での回答としている場合がある。

2 調査結果（転入者）

（1）回答者の年齢

回答者の年齢は、20代～30代で全体の53.7%を占めている。また、40代、50代、60代はそれぞれ15.1%、70代は1.1%だった。10代の回答者はいなかった。

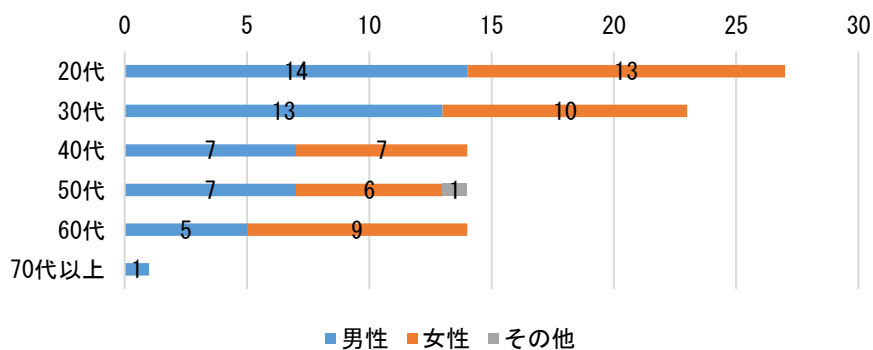
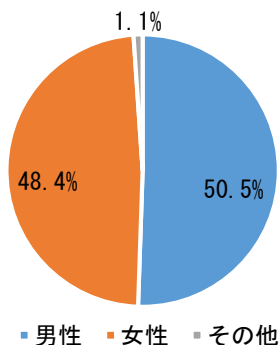
| 選択肢 | 回答数 |
|-----|-----|
| 20代 | 27 |
| 30代 | 23 |
| 40代 | 14 |
| 50代 | 14 |
| 60代 | 14 |
| 70代 | 1 |
| 合計 | 93 |



（2）回答者の性別

回答者の性別は、男性が50.5%で、女性よりわずかに多かった。

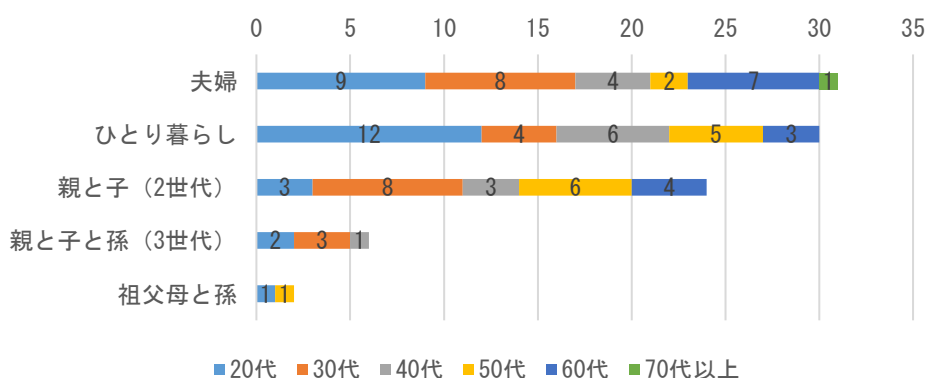
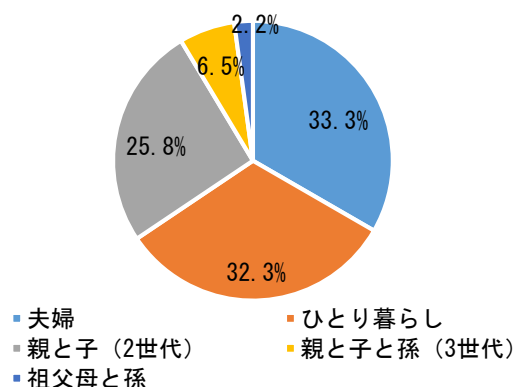
| 選択肢 | 回答数 |
|-----|-----|
| 男性 | 47 |
| 女性 | 45 |
| その他 | 1 |
| 合計 | 93 |



(3) 回答者の丹波市転入後の家族構成

回答者の丹波市での家族構成は、「夫婦」が33.3%、「ひとり暮らし」が32.3%とほぼ同じで、その次に「親と子（2世代）」が25.8%となった。

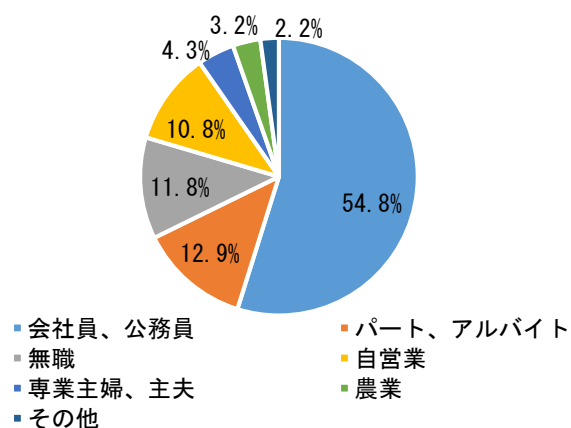
| 選択肢 | 回答数 |
|------------|-----|
| 夫婦 | 31 |
| ひとり暮らし | 30 |
| 親と子（2世代） | 24 |
| 親と子と孫（3世代） | 6 |
| 祖父母と孫 | 2 |
| 合計 | 93 |

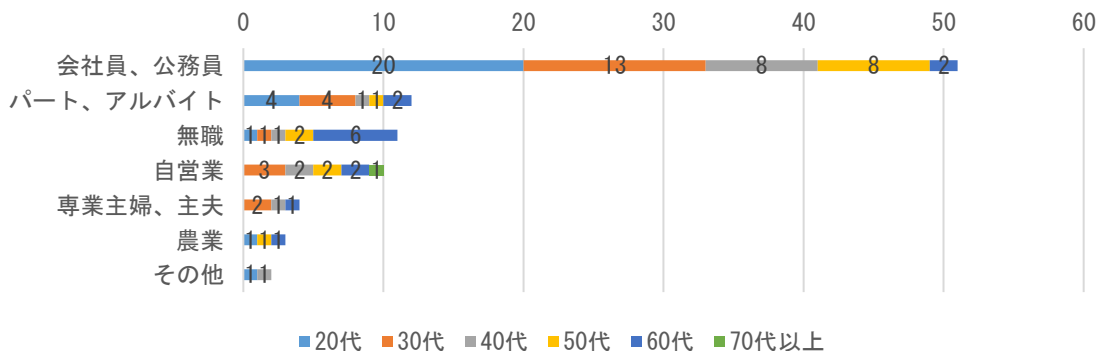


(4) 回答者の丹波市転入後の職業

回答者の丹波市での職業は、「会社員、公務員」が54.8%で過半数を占めた。その次に、「パート、アルバイト」が12.9%、「無職」が11.8%、「自営業」が10.8%と続いた。また、「専業主婦、主夫」は4.3%、「農業」は3.2%だった。

| 選択肢 | 回答数 |
|-----------|-----|
| 会社員、公務員 | 51 |
| パート、アルバイト | 12 |
| 無職 | 11 |
| 自営業 | 10 |
| 専業主婦、主夫 | 4 |
| 農業 | 3 |
| その他 | 2 |
| 合計 | 93 |





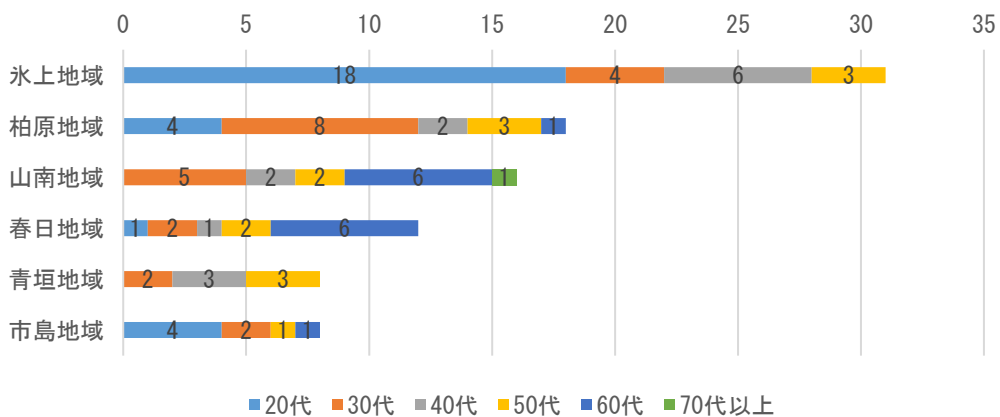
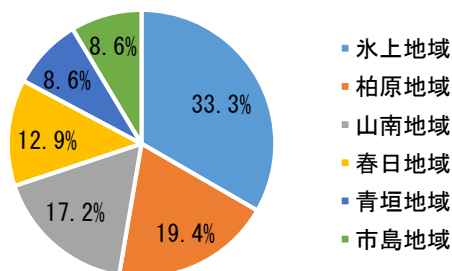
[その他の内容]

農家手伝い、生活保護・障害年金受給者

(5) 回答者のお住まいの地域

回答者の居住地域は、氷上地域が33.3%でもっと多く、柏原地域19.4%、山南地域17.2%、春日地域12.9%と続き、青垣地域と市島地域はそれぞれ8.6%だった。

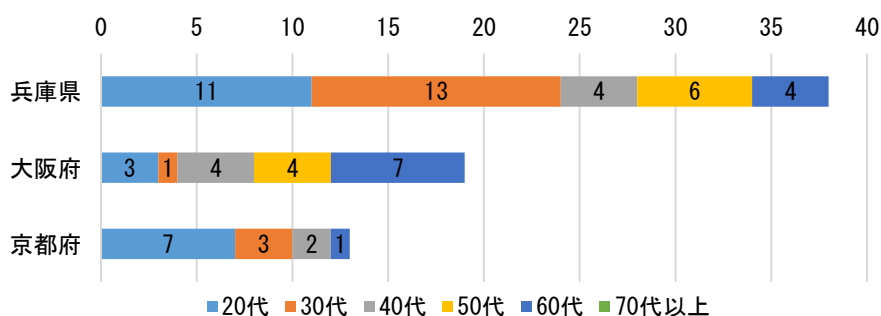
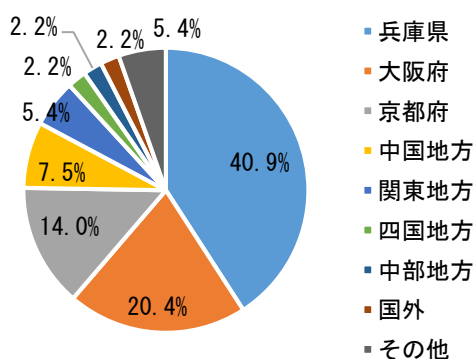
| 選択肢 | 回答数 |
|------|-----|
| 氷上地域 | 31 |
| 柏原地域 | 18 |
| 山南地域 | 16 |
| 春日地域 | 12 |
| 青垣地域 | 8 |
| 市島地域 | 8 |
| 合計 | 93 |



(6) 丹波市転入前の居住地

回答者の丹波市転入前の居住地は、兵庫県内が40.9%で最も多く、大阪、京都を合わせた3府県で全体の75.3%を占めた。市区町村別では、丹波篠山市（8人）、神戸市・大阪市（7人）、三田市（5人）、京都市（4人）が特に多かった。

| 選択肢 | 回答数 |
|------|-----|
| 兵庫県 | 38 |
| 大阪府 | 19 |
| 京都府 | 13 |
| 中国地方 | 7 |
| 関東地方 | 5 |
| 四国地方 | 2 |
| 中部地方 | 2 |
| 国外 | 2 |
| その他 | 5 |
| 合計 | 93 |



[上位3地域の詳細内訳]

○ 兵庫県 (38)

丹波篠山市 (8)、神戸市 (7)、三田市 (5)、宝塚市 (3)、多可町 (2)、西宮市 (2)、伊丹市 (2)、尼崎市 (2)、芦屋市 (1)、加東市 (1)、香美町 (1)、西脇市 (1)、赤穂市 (1)、姫路市 (1)、明石市 (1)

○ 大阪府 (19)

大阪市 (7)、大阪府 (3)、豊中市 (2)、羽曳野市 (1)、高槻市 (1)、吹田市 (1)、泉佐野市 (1)、東大阪市 (1)、枚方市 (1)、箕面市 (1)

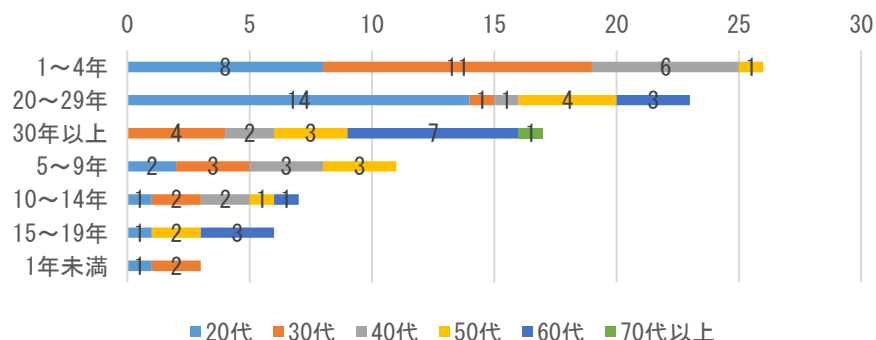
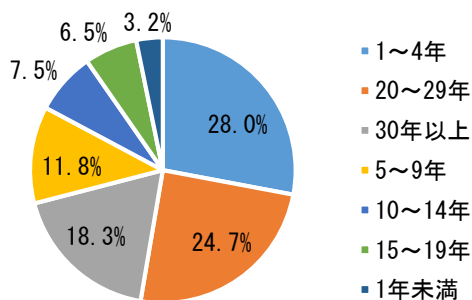
○ 京都府 (13)

京都市 (4)、福知山市 (3)、京都府 (1)、宇治市 (1)、京丹後市 (1)、長岡京市 (1)、木津川市 (1)、与謝野町 (1)

(7) 丹波市転入前の居住地での居住期間

回答者の転入前の居住地での居住期間は、1～4年が28.0%で最も多かったが、49.5%の人が15年以上と答えた。

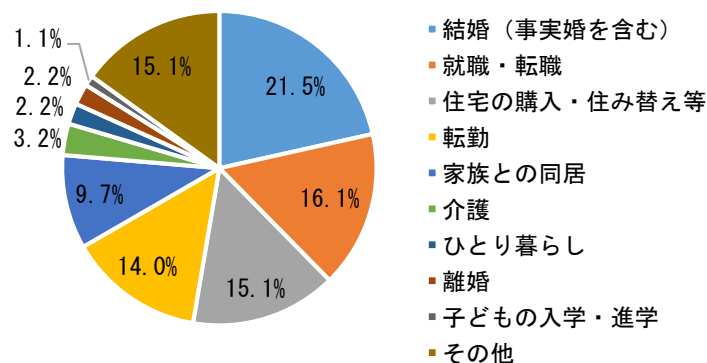
| 選択肢 | 回答数 |
|--------|-----|
| 1～4年 | 26 |
| 20～29年 | 23 |
| 30年以上 | 17 |
| 5～9年 | 11 |
| 10～14年 | 7 |
| 15～19年 | 6 |
| 1年未満 | 3 |
| 合計 | 93 |



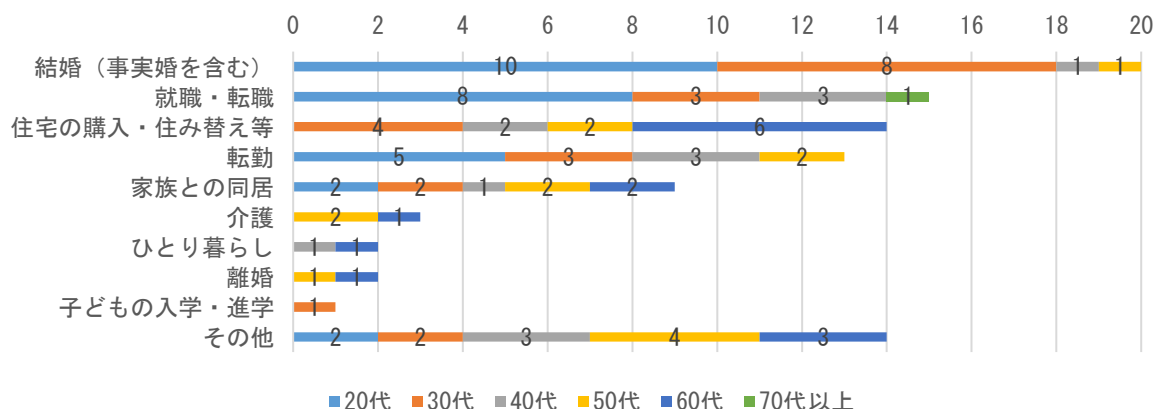
(8) 丹波市に転入したきっかけ

転入したきっかけは、「結婚（事実婚を含む）」が21.5%、「就職・転職」が16.1%、「住宅の購入・住み替え等」が15.1%、「転勤」が14.0%となった。

| 選択肢 | 回答数 |
|-------------|-----|
| 結婚（事実婚を含む） | 20 |
| 就職・転職 | 15 |
| 住宅の購入・住み替え等 | 14 |
| 転勤 | 13 |
| 家族との同居 | 9 |
| 介護 | 3 |
| ひとり暮らし | 2 |
| 離婚 | 2 |



| | |
|-----------|----|
| 子どもの入学・進学 | 1 |
| その他 | 14 |
| 合計 | 93 |



[その他の内容]

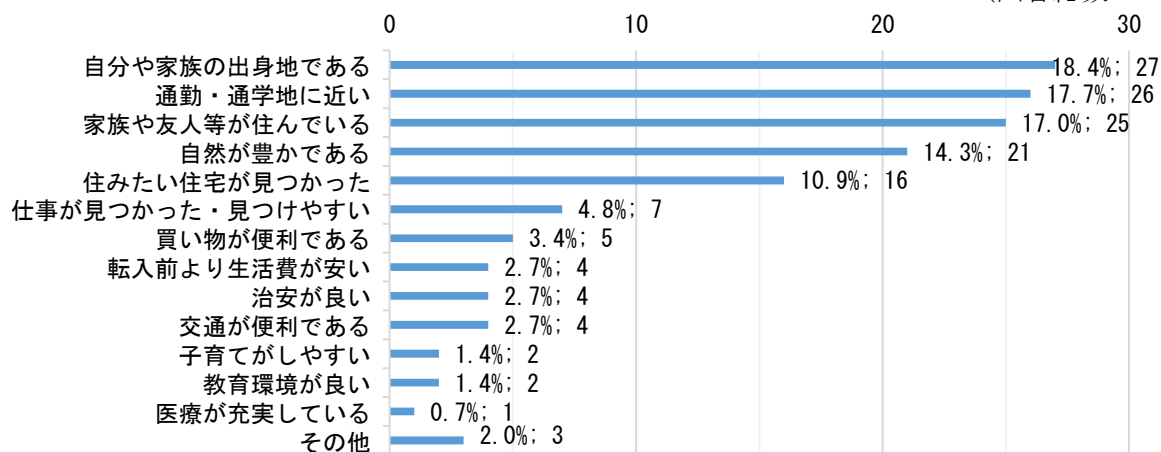
実家の空き家対策・自治会の関係、実家の事業を継ぐため、妊娠・出産、夫を中心に畑で自家用の作物を育てる生活をするため、引退、田舎暮らしをするため、地元へUターン・夫が起業、気分、介護・コロナ禍での仕事の取組み方の変化、彼氏と同棲するため、父と自分の出身地へ戻るため、実家の改修の補助、退職をきっかけに農業をしながら自然豊かなところで余生を送るため

(9) 丹波市を転入先として選んだ理由

丹波市を選んだ理由は、「自分や家族の出身地である」と「通勤・通学地に近い」、「家族や友人等が住んでいる」がそれぞれ17~18%あり、「自然が豊かである」が14.3%、「住みたい住宅が見つかった」が10.9%と続く。

一方で、「仕事が見つかった・見つけやすい」は、「住みたい住宅が見つかった」の半分以下となっており、生活費の安さや治安の良さ、交通や子育てのしやすさなどの生活のしやすさや利便性に関する項目は低くなっている。

(回答総数:147)



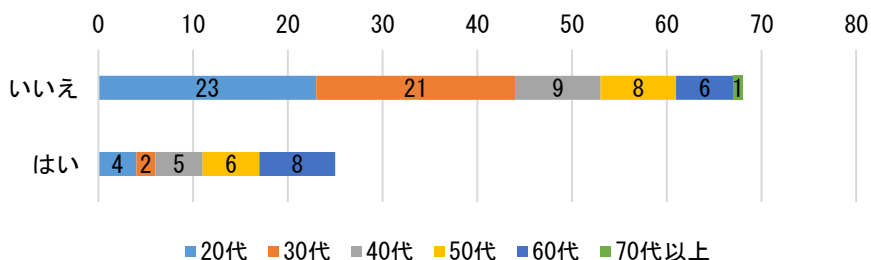
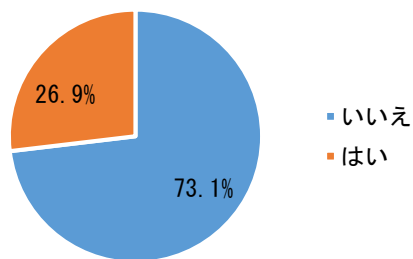
[その他の内容]

出身地に近いため、お互いの職場へ通勤するために中間地点であるため

(10) 移住先を検討する際、丹波市以外の自治体を検討しましたか。

「いいえ」と答えた回答者は73.1%と、移住時に丹波市以外の自治体を検討していない回答者は7割以上にのぼった。

| 選択肢 | 回答数 |
|-----|-----|
| いいえ | 68 |
| はい | 25 |
| 合計 | 93 |



[他に検討した自治体（回答総数:45、回答人数23人）]

丹波市転入時に他に検討した自治体は、丹波篠山市が6（うち丹波篠山市在住者の回答が2）で最も多く、多可町、三田市、京都府福知山市、京都府が3、神戸市、加東市、朝来市、岡山県が2であった。

回答者のうち兵庫県内からの転入者は、丹波市に隣接する県内自治体を検討したケースが多かった。岡山県内の自治体という回答が7あったが、検討したと答えた4人のうち、転入前に中国地方（岡山県外）在住者は1人、大阪府在住者は3人だった。

(11) 丹波市で住み続けていくためには、どんなことがあればいいと思いますか。

○ 全般

- ・同居が目的だったので選択肢は無かったが、出来れば丹波篠山市の様に電車通勤を便利にして欲しいことと、育児サービスを活発にして欲しい。丹波篠山市との比較になるが、リモートでの交流会があったり、出産までの勉強会の機会も手厚くあったが丹波市では案内も少なく連絡もない。子育ては丹波篠山の方が子育てしやすかった。
- ・丹波市の活性化。観光地だけでなく若者の移住先として魅力を発信。市からの育児支援。市内に学ぶ場所が少なすぎる。オールイングリッシュの認定幼児教育。
- ・大型ごみを市が回収していない（委託）、段ボールごみなどが自宅前に出せない、バスの本数も少ないなど車を運転する前提になっている。これでは高齢になっても免許返納する気にならない。仮に免許返納した方はどうされているのか気になる。転勤で地方都市含めあちこち住んできたが、こんなところは初めてで驚いている。安心して免許返納できるようなまちななればいいと思う。
- ・自然豊かな環境、親切な人々、古民家や和風建築の継承。
- ・結婚、妊娠、出産の支援・機会の提供。
- ・美味しい飲食店(チェーン店ではない)、美味しい生産者。
- ・近くにコンビニやスーパーなど。大きな病院も近くに欲しい。
- ・公共料金の値下げ、医療、福祉の充実。
- ・市役所、ルミネ、医療センター、警察署、税務署などが遠くて不便です。オンラインや出張所でもっと手続きが出来るようにしてほしい。また、こどもの3歳検診などは、ルミネまでつれていくのは大変。大人健康診断のように巡回があるなど、選択肢があると助かります。
- ・本屋、飲食店、娯楽施設、ショッピング施設、専門医者等が少ない。不便である。
- ・高齢者が住みやすく、便利(交通機関が利用しやすい)であって欲しい。

○ 移住

- ・お試し住宅等が他の自治体と比べて少ない。住めても補修に多額の費用がかかることが多い。
- ・調査してなかったのですが、公共料金や税金、保険料金が大阪市より高く驚きました。他の市町村では色々移住者に援助や支援がありましたが、本市には全くサポートが無いと聞かされ驚き若干イメージダウンしました。引っ越し完了後に知ったので全ては後の祭りですが。
- ・他の県では移住者に援助や支援が結構充実していましたが丹波市は全くサポートが無いと知り少々ショックでした。又、公共料金や税金なども大阪市より高いことも驚きました。
- ・移住者交流会、起業補助金。

○ 仕事

- ・都市部相応の給与を得られる仕事。
- ・雇用の拡大。
- ・仕事の選択肢と職場環境、条件が良くなること。仕事があっても低賃金が多く、選択肢に欠ける。誰でも雇う職場ではレベルが下がるので、ある程度試験をして優秀な人材育成に努めるべき。
- ・高齢者が働ける仕事。
- ・安定して働ける職場。
- ・自分のやりたい仕事に熱中したいです。まだ子どもがいませんが、子どもを育てながら正社員でバリバリ働きたいです。

○ まちの環境

- ・市外からやって来る人たちが滞在を楽しめるよう、案内板などを充実させたり、魅力的な宿

- 泊施設を用意すること。(町が賑わうこと、ファンが増えることから、転入者を増やす)
- ・大型商業施設の誘致。
- ・有名チェーン店の誘致。
- ・劇場、映画館など、文化的な施設があり、活用されている(利用して楽しむことができる)こと。
- ・大型ショッピングセンター以外の商業地、商店街があること。
- ・公衆トイレを増やすこと。(現状、付近にトイレがない高速バスのバス停あり)
- ・道路整備、林道整備して、各町へのアクセスをよくする。
- ・車が無いと不便なので、せめて自転車で行ける距離にコンビニかスーパーがあってほしいです。よろしくお願い致します。
- ・コロナ時期ですが年輪の里や、ゆめタウンの他に娯楽施設が増えて欲しい。
- ・スーパー銭湯。
- ・治安がもっと良くなること。夜中にコンビニや複合施設前で集まる若年層が多いから。
- ・国道や県道でも、歩道のない場所が多いので、歩道や街灯整備をするべき。狭い国道や県道の整備が隣接する自治体と比べて遅い。
- ・無人の木造一軒家が多いので、いつ崩壊するかわからず、危ない。
- ・稲継交差点の渋滞を改善する策を今すぐに考えないと、そのうちでは遅い。
- ・スーパーや小売店の充実。
- ・まだよくわかりませんが全体的に街灯が少なすぎると感じました。
- ・娯楽施設の拡充。
- ・洋服が買えるところが少ないので、増やしてほしい。ミスドがないのが残念。

○ 子育て・教育・男女共同参画

- ・子育て中の医療費補助、理解ある職場環境。
- ・丹波市政は子育て世代に無気力かつ消極的なのが問題です。明石市のようにしろとは言いませんが、もっとマシな施策を要求します。兵庫県下では子育て世代にもっとも冷たい自治体と感じています。兵庫県 10 自治体を渡り歩いた私の肌感覚で申し訳ないですが、6 万人を抱える市としての振る舞いではありません。お金を配る必要もセミナーを開く必要もありません。子育て世代向けの物やサービスに力を入れて欲しいです。今年度からのハッピーバースパックはとても良いと思います。が、財源が中兵庫信用金庫からの寄付ではガッカリです。市政の子育て世代に対する財源はないのでしょうか？お隣の朝来市は丹波市の半分の人口ですがとても良い事例な施策をお持ちです。さらに丹波篠山市は Web ページを刷新しとてもおしゃれで見やすくなっています。丹波市はいつまであの古くさく見にくい HP のままなのでしょうか？ 2 児を持つ親として生まれ育った丹波市に戻ってきましたが、あんまりです。帰ってこいという市長の気持ちは良いですが子育て世代が移住、定住するための物・サービスを強化したより強い施策を望みます。
- ・パートナーシップ制度を取り入れてほしい。
- ・子育て支援の充実。
- ・子育てしやすい環境。
- ・子育てと教育にお金と人を多くまわしてほしい。
- ・病気時のフォロー。
- ・土曜日日曜日に子供を見ってくれる施設が無く子供がいる世帯は働きづらい。
- ・手当をより良くして貰いたい。
- ・教育の機会。
- ・子育て支援の充実。
- ・子育てをしやすい環境、制度。

○ 生活関連サービス・生活費

- ・水道代、ごみ袋代が高すぎます。四国、岡山と暮らしましたがここに来てこんなにも高いのは初めてでした。正直割合にあっていないので、水道代、ごみ袋が安くなれば住み続けたいと感じます。
- ・ゴミ袋が高すぎる。
- ・市民税を払っているにもかかわらず、自治会費を別途払わないとゴミステーションにゴミを出せない制度をなんとかしてください。このくだらないシステムが無くならない限り、定住はない。
- ・水道、ゴミ回収料金が以前の自治体より高いのが、少し残念な感じですね。後は特別ありません。
- ・ライフラインにかかる経費が安くなるといい。
- ・水道代が高い。ゴミ袋代が高い。光熱費など生活して行く中で高いと思う。家賃も西脇市と比べたら相場が高い。
- ・水道代、ゴミ袋代など生活に必要な費用がとても高く感じます。せつかく自然がたくさんで人も温かい方ばかりなのに、生活しづらく思います。
- ・上下水道代の値下がり。
- ・水道代を安くしてほしい。ゴミ袋も安くしてほしい。
- ・自治会費が異常に高額なのは驚いた。自治会での草刈りなどの負担は参加者が殆ど高齢で大変(市ですべきでは?)
- ・ゴミ袋代が他地域に比べて高すぎる。知り合いにあまりおすすめできない。
- ・公共交通機関の充実。ゴミ袋の値下げ。
- ・路線バスの本数が今より増えること。
- ・都市へは出かけにくい。
- ・公共交通機関の充実。
- ・車が無くても生活が可能。
- ・公共交通機関の向上。
- ・交通の利便性向上。
- ・交通網の整備。(氷上北部～市島等)
- ・自家用車がなくても生活できること。公共交通が高価。

○ 福祉・医療

- ・医療機関が現況より増えること。
- ・医療、福祉の充実。
- ・精神疾患を持っている人たちにいろんなサポートと、家族の人たちにも少しでもいいから楽に暮らせる方法を考えて欲しい。
- ・医療体制。

○ その他

- ・活発な市民活動。
- ・楽しいイベント。
- ・市民が丹波市を好きになること、よくしていこうとする姿勢。
- ・活気がほしい。どんどん過疎化している気がします。
- ・丹波市のシンボルである新庁舎の建設。
- ・他の自治体と比べて、何か一つでも良いので優位性があれば良い。ごみ袋や水道代の安さ、市長公約の支援金等。

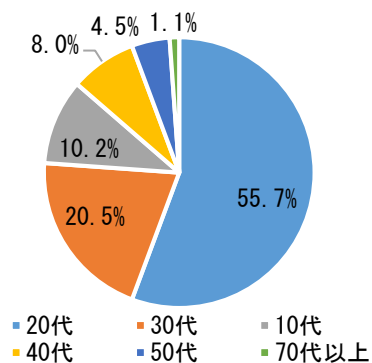
- ・市役所職員の資質向上。
- ・助成金や、ワクチン接種など対応の遅さに閉口している。
- ・今は特に感じることはなく満足しています。
- ・街全体が生き生きしてほしい。古い街並みや伝統的な行事、お祭りをたくさんしてほしいです。
- ・色んなことが挑戦できる街であってほしいです。伝統的かつ民族的な街の特性を大切にしながら、どんどん発展していけると希望が持てます。
- ・農機具のレンタルがなくて困っている。
- ・地域医療課にも要請していますが、特定の団体に所属する医療機関だけを広報に掲載するのは不公平と思います。これまで永年やってきたものでも、間違っていることは改めるべきです。公平、公正な市政をお願いします。
- ・自治体からの補助金。
- ・コロナ禍では状況は変わりますが地域の方と気軽に交流出来るようなイベント等が多くあると嬉しく思います。
- ・いいです。
- ・平和に、暮らせたら。(ごく普通の生活)

3 調査結果（転出者）

（1）回答者の年齢

回答者の年齢は、20代が55.7%と半分以上、10代～30代が全体の86.4%、40代も合わせれば94.4%が若年層や主に子育て世代となる回答者だった。なお、60代の回答者はいなかった。

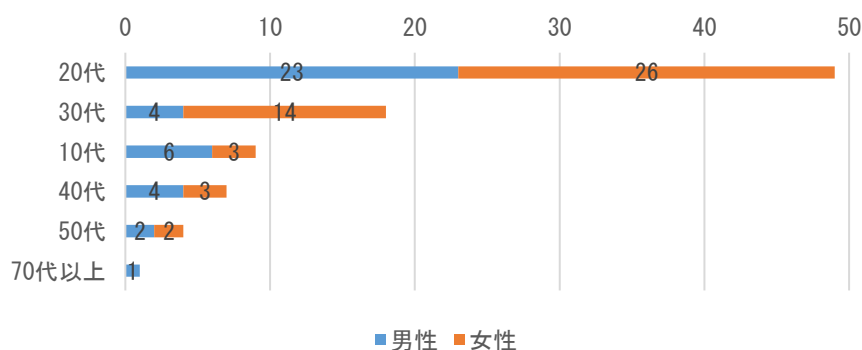
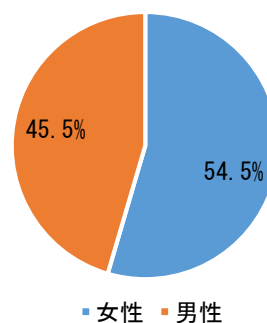
| 選択肢 | 回答数 |
|-------|-----|
| 20代 | 49 |
| 30代 | 18 |
| 10代 | 9 |
| 40代 | 7 |
| 50代 | 4 |
| 70代以上 | 1 |
| 合計 | 88 |



（2）回答者の性別

回答者の性別は、女性が54.5%で、男性より多かった。

| 選択肢 | 回答数 |
|-----|-----|
| 女性 | 48 |
| 男性 | 40 |
| 合計 | 88 |

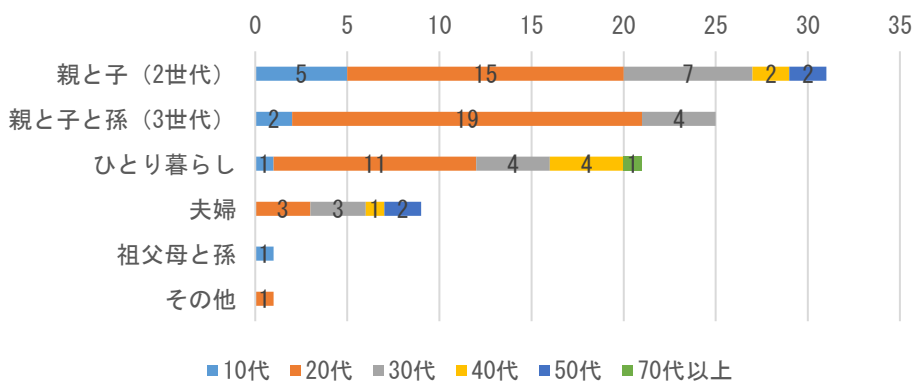
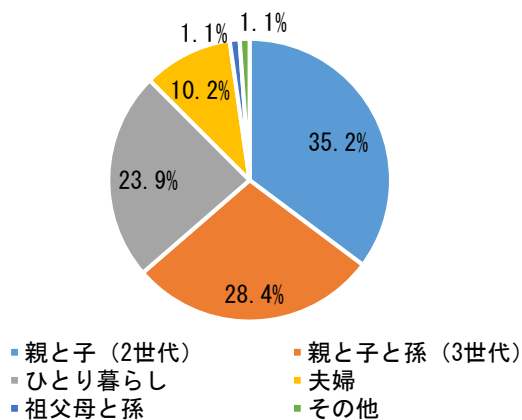


（3）回答者の丹波市在住時の家族構成

回答者の丹波市在住時の家族構成は、もっとも多かった「親と子（2世

代)」が35.2%、続いて「親と子と孫（3世代）」が28.4%、「ひとり暮らし」が23.9%となっている。一方、転入者アンケートで最も多かった「夫婦」は、10.2%に留まっている。

| 選択肢 | 回答数 |
|------------|-----|
| 親と子（2世代） | 31 |
| 親と子と孫（3世代） | 25 |
| ひとり暮らし | 21 |
| 夫婦 | 9 |
| 祖父母と孫 | 1 |
| その他 | 1 |
| 合計 | 88 |



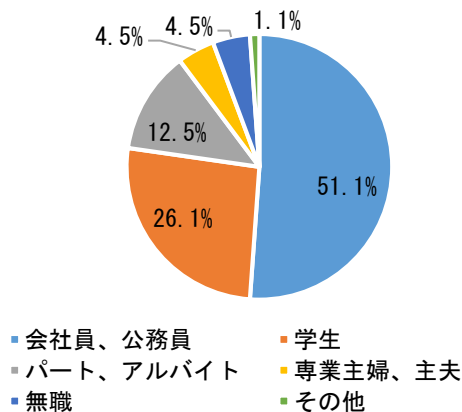
[その他の内容]

本人と兄弟

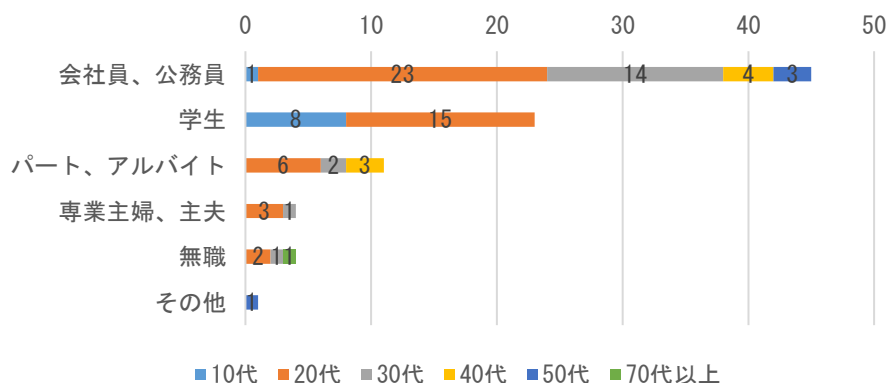
(4) 回答者の丹波市在住時の職業

回答者の職業は、「会社員、公務員」が51.1%で転入者アンケートと同じく過半数を占めているが、その次に、転入者アンケートではいなかった「学生」が26.1%となり、さらに「パート、アルバイト」が12.5%で続いている。

| 選択肢 | 回答数 |
|-----------|-----|
| 会社員、公務員 | 45 |
| 学生 | 23 |
| パート、アルバイト | 11 |
| 専業主婦、主夫 | 4 |
| 無職 | 4 |



| | |
|-----|----|
| その他 | 1 |
| 合計 | 88 |



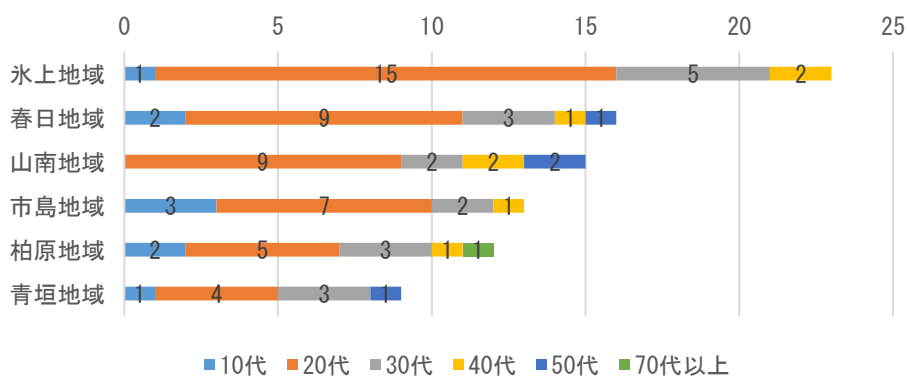
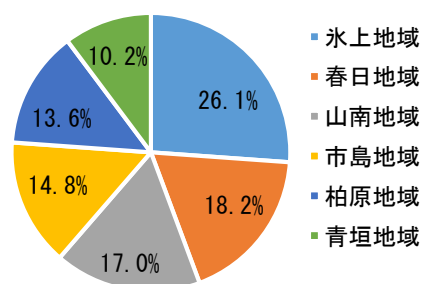
[その他の内容]

保育士

(5) 回答者の丹波市でのお住まいの地域

回答者の居住地域は、氷上地域が26.1%でもっと多く、春日地域18.2%、山南地域17.0%、市島地域14.8%と続き、柏原地域は13.6%で、青垣地域の10.2%の次に低い割合となっている。

| 選択肢 | 回答数 |
|------|-----|
| 氷上地域 | 23 |
| 春日地域 | 16 |
| 山南地域 | 15 |
| 市島地域 | 13 |
| 柏原地域 | 12 |
| 青垣地域 | 9 |
| 合計 | 88 |

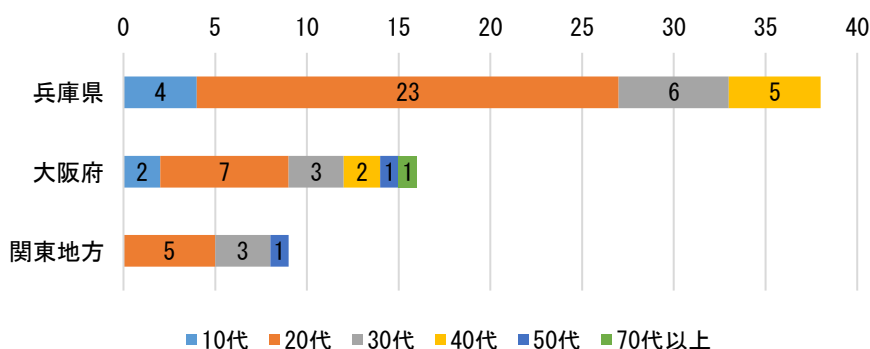
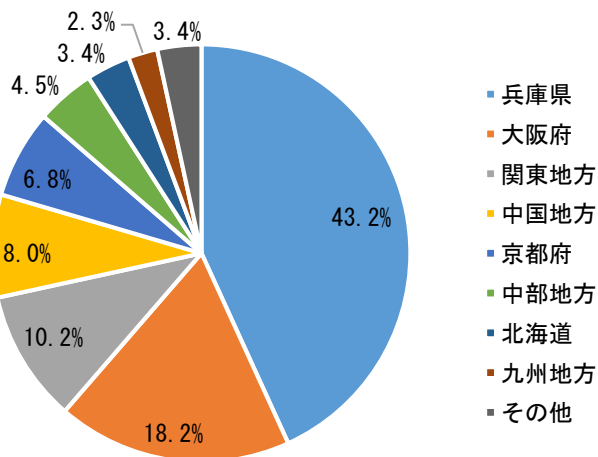


(6) 丹波市転出後の居住地

回答者の転出後の居住地は、兵庫県内が43.2%で最も多く、大阪、京都を合わせた3府県で全体の68.2%を占めた。関東地方も10.2%あった。

市区町村別では、神戸市(15人)、丹波篠山市(6人)、大阪市(5人)、西脇市・大阪府・島根県松江市(3人)が多かった。

| 選択肢 | 回答数 |
|------|-----|
| 兵庫県 | 38 |
| 大阪府 | 16 |
| 関東地方 | 9 |
| 中国地方 | 7 |
| 京都府 | 6 |
| 中部地方 | 4 |
| 北海道 | 3 |
| 九州地方 | 2 |
| その他 | 3 |
| 合計 | 88 |



[上位3地域の詳細内訳]

○ 兵庫県 (38)

神戸市 (15)、丹波篠山市 (6)、西脇市 (3)、尼崎市 (2)、加古川市 (2)、豊岡市 (2)、三木市 (2)、高砂市 (1)、三田市 (1)、伊丹市 (1)、淡路市 (1)、宝塚市 (1)、明石市 (1)

○ 大阪府 (16)

大阪市 (5)、大阪府 (3)、堺市 (2)、茨木市 (1)、守口市 (1)、摂津市 (1)、泉南市 (1)、東大阪市 (1)、箕面市 (1)

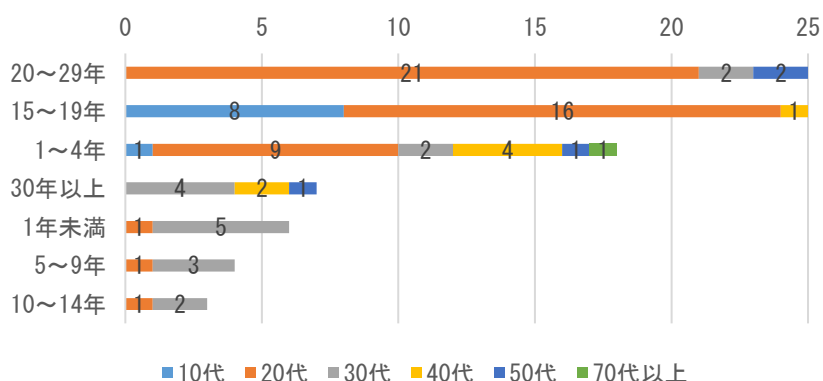
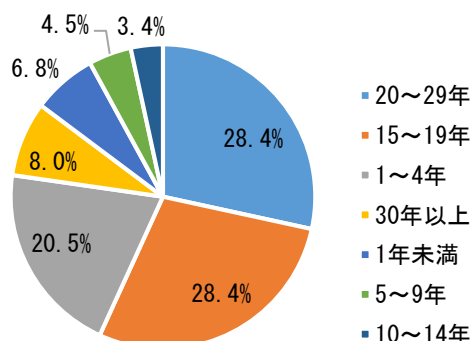
○ 関東地方 (9)

神奈川県横浜市 (2)、東京都豊島区 (2)、茨城県つくば市 (1)、山梨県昭和町 (1)、東京都 (1)、東京都葛飾区 (1)、東京都江東区 (1)

(7) 丹波市での居住期間

回答者の転入前の居住地での居住期間は、20～29年が28.4%、15～19年が28.4%、1～4年が20.5%だった。64.8%の人が15年以上と答えた。

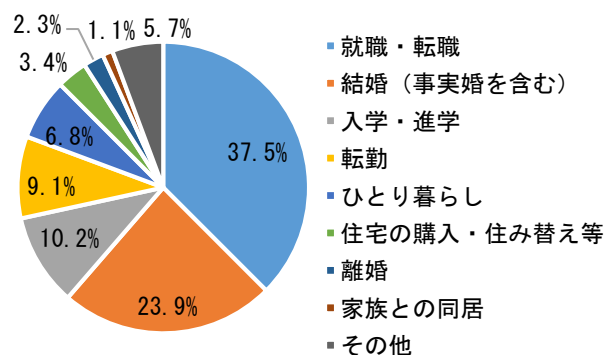
| 選択肢 | 回答数 |
|--------|-----|
| 20～29年 | 25 |
| 15～19年 | 25 |
| 1～4年 | 18 |
| 30年以上 | 7 |
| 1年未満 | 6 |
| 5～9年 | 4 |
| 10～14年 | 3 |
| 合計 | 88 |



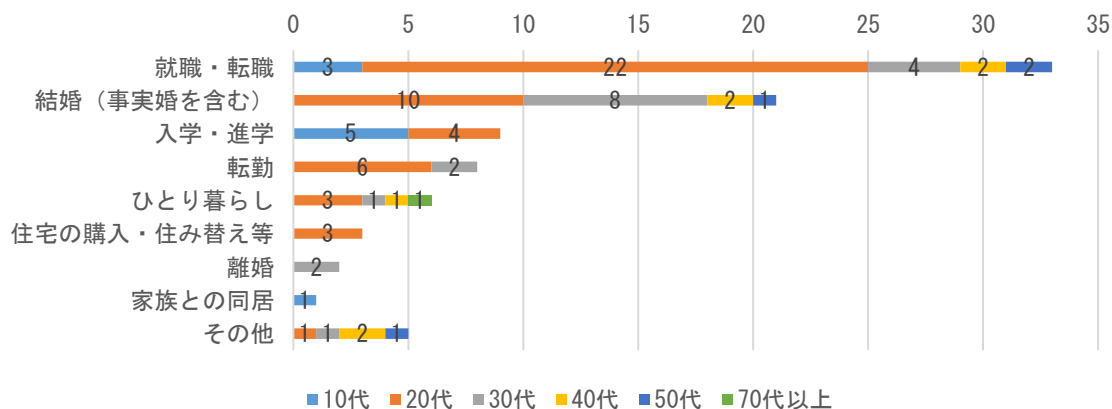
(8) 丹波市から転出したきっかけ

丹波市から転出したきっかけでは、「就職・転職」が37.5%で最も多く、続いて「結婚（事実婚を含む）」が23.9%、あわせて61.4%であった。また、転入者アンケートではなかった「入学・進学」が10.2%であった一方、転入者アンケートでそれぞれ約15%を占めた「転勤」が9.1%、「住宅の購入・住み替え等」が3.4%であった。

| 選択肢 | 回答数 |
|------------|-----|
| 就職・転職 | 33 |
| 結婚（事実婚を含む） | 21 |
| 入学・進学 | 9 |
| 転勤 | 8 |
| ひとり暮らし | 6 |



| | |
|-------------|----|
| 住宅の購入・住み替え等 | 3 |
| 離婚 | 2 |
| 家族との同居 | 1 |
| その他 | 5 |
| 合計 | 88 |



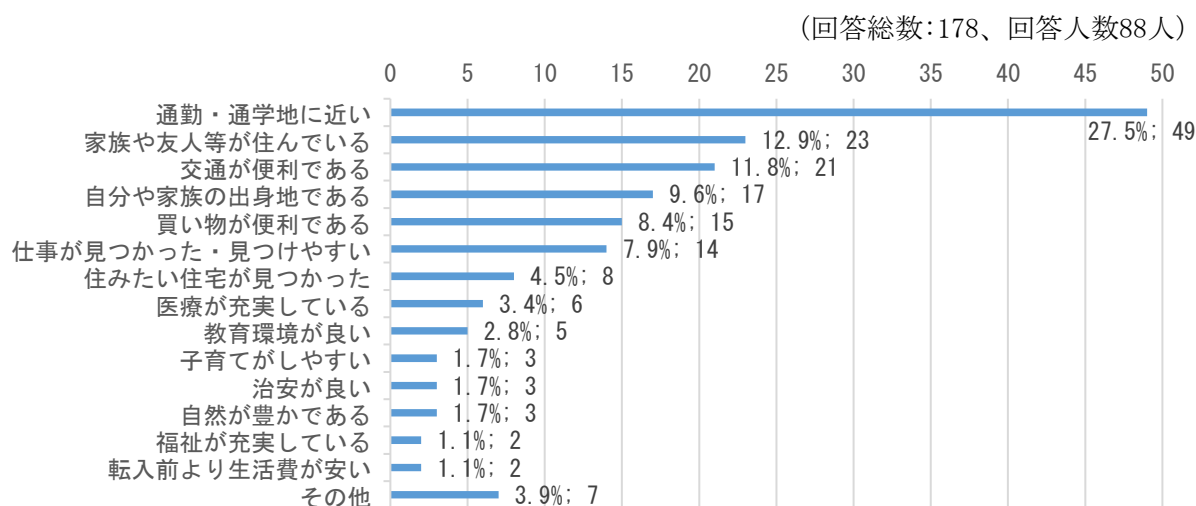
[その他の内容]

コロナの影響で引越しの必要が生じたため、転勤もあるが主な理由はコロナで帰れなくなったため、子供が学校でいじめられたため、家族との近居、同居

(9) 現在の居住地を転出先として選んだ理由

転出先として選んだ理由は、「通勤・通学地に近い」が49 (27.5%) と突出して多く、「家族や友人等が住んでいる」の23 (12.9%) や、「交通が便利である」の21 (11.8%) の倍以上あった。

「交通が便利である」、「買い物が便利である」などの生活に関する項目も比較的多いものの、その他の生活に関する項目については、転入者と同様に低くなっている。



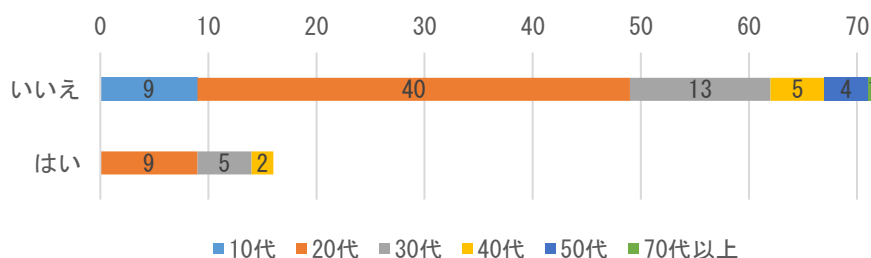
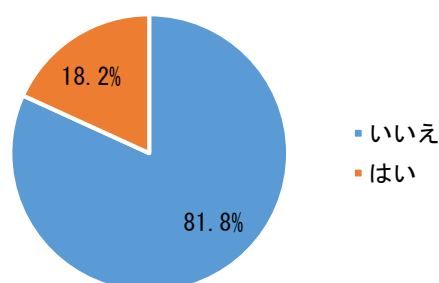
[その他の内容]

単身赴任で自宅に戻ったため、実家があるため、彼氏が居たため、将来的に住もうと考えているところによく似た環境だから、別の地域を知って自分の価値観を広げたかったから、偏見を持って行政を見るのではなく実際に他市町に住んで行政や政策の違い（いいところよくないところ）を知りたかったため、夫の勤務地との中間地点、相手方の生活圏のため、妊娠中で色々とバタバタしており早めに住む場所を決めたかったので夫の地元ということもありとりあえず住んでいる

(10) 移住先を検討する際、今の居住地以外の自治体を検討しましたか。

いいえと答えた回答者は81.8%で、8割以上の転出者が転出先以外の自治体を検討していない。はいと答えた回答者も18.2%あった。

| 選択肢 | 回答数 |
|-----|-----|
| いいえ | 72 |
| はい | 16 |
| 合計 | 88 |



[他に検討した自治体（回答総数:22、回答人数15人）]

転出時に検討した自治体は、三田市と神戸市が3で最も多く、続いて朝来市、加古川市が2であった。回答者の多くが、転出元（兵庫県）もしくは転出先の同一か隣接する府県を転出先の候補として検討しており、転出元・転出先のどちらとも同一でも隣接でもない県への転出を検討したと回答があったのは1件のみだった。

(11) これから丹波市がどうなれば、どういうことがあれば丹波市へ帰ってきたい
と思いますか。

○ 全般

- ・自分が家庭を持つとなったら、丹波市で暮らしたいと思います。
- ・少し不便だけど良い場所だと思う。若いうちに行きたい場所に行って、田舎に戻りたくなったらまた戻らと思う。
- ・丹波市は十分素敵な場所でした。
- ・コロナが収束され、帰りやすくなるか、退職したら帰ります。
- ・地元に戻って就職したため、丹波市に戻ることはないと思いますが、自然がたくさんあり、食べるものがどれもおいしかったです。人にも恵まれて楽しい時間を過ごすことができました。また遊びに行きたいと思います。
- ・子育て環境の拡充、商業・レジャー施設が充実。
- ・将来的には実家に帰る予定(時期未定)。自動車を使用できない高齢者向けの交通機関の充実、地域産業の発展などにより若者が住む町になってほしい。
- ・転職出来る会社が見つかったら。子供の支援が他の地域より多かったら。
- ・十分魅力的ですが、都心から近ければいいなと思います。田舎への需要が高まり、遊べる場所や店が増えてきて嬉しいです。

○ 移住 (Uターン)

- ・丹波市は生まれ育った街なので、機会があればまた帰りたいです。
- ・どのタイミングかは決めていないが、丹波へ帰りたと思っています。丹波は四季の移り変わりが魅力的です。今後のことを考えると結婚・出産・育児・自身の健康への支援が厚ければ嬉しいです。誰にでもやさしいまちになればいいなと思います。
- ・(1)自分の興味関心・スキルが活かせる就職先が見つかる場合(2)丹波に住む両親と同居もしくは近くに住む必要が出てきた場合(親の介護が発生したり、自分が結婚して育児等の助力が必要など)
- ・言い方が悪くなりますが、村社会が根強く残っているため、穏やかに暮らしたいとなると厳しいのでは無いかと思っております。丹波市だけでなく、田舎はどこもそういう風潮が残っているのではないかと感じてしまう為、移住しづらいと考えています。

○ 情報発信

- ・市ならではの取り組みがあまり見受けられないもしくは広報できていない。
- ・丹波市をもっとPRできる取り組み。

○ 就職・仕事

- ・自分は、就職を機に丹波市から転出しましたが、大学進学時はUターン就職して丹波市に戻ってくるつもりでいました(生まれ育った丹波市に愛着があるので)。しかし、自分がやってみたい仕事・挑戦してみたい仕事どうしても丹波市や丹波市から通える場所で見つからず、今の自治体に引っ越しました。丹波市は移住・定住の施策にも力を入れていると聞いているので、もしライフステージが変わり、Uターンの選択肢が出てきた際は前向きに考えたいと思っています。
- ・就職のタイミングで戻れたらいいなとは思っているので、就活次第です。
- ・丹波市へ転勤する機会があれば住みます。
- ・夫の仕事の都合で帰れない。
- ・丹波市での定住を諦めた理由として、希望する仕事の募集がないため丹波市での定住を諦めた。大学で生物系の分野を専攻して博士課程に進んだため、年齢は30手前となり、公務員試

験の年齢制限に引っかかるようになった。数年前に、丹波市では博物館学芸員の募集があった際も年齢制限で応募できなかった。丹波市で、年齢を問わず、生物系の仕事で任期なしの採用募集があれば、応募したいと考えている。採用されれば、私は丹波市で定住するだろう。

- ・今勤めている会社の支社又は支店があれば。
- ・仕事が選べれば戻りたいです。
- ・高齢化により農業が衰退する可能性があるが、会社員でも簡単に副業で農業に参加できる環境があればいいと思う。
- ・勤務地が近ければ丹波市に帰る。
- ・就労先の充実。

○ まちの環境

- ・もっとお店が増えたらいいと思う。
- ・田舎の方の買い物が便利になると嬉しい。限られているので節約しにくいです。
- ・もっと飲食店や買い物する場所が増えれば住みやすいと感じた。また転勤ということがあれば移住の可能性あり。
- ・10代・20代の若い人たちが遊びに行く場所が市内に少ないと感じています。公共交通機関がもう少し充実していればとも思います。
- ・青垣町に線路をひいてくる。
- ・都心部へのアクセスが良くなれば。
- ・飲食店やお買い物出来るようなところが増えるといい。
- ・大型ショッピングモールができれば。ボルダリングジムやスポーツジム、スーパー銭湯などのレジャー施設ができれば。

○ 子育て・教育・男女共同参画

- ・子育てする時に帰りたい。
- ・子育てしやすい環境。
- ・10年住みましたが、交通の便の悪さ、子供医療の少なさに大変苦労しました。こども園も丹波は18時には閉園する所ばかりでしたが、大阪では19時まで見てくれる所も多く、環境の違いに愕然としました。子育て環境に加え、雪も多く家や車の手入れも大変な地域なので、今後ひとり親世帯として居住に選ぶことは難しいです。
- ・今はコロナで難しいでしょうが、屋内で気軽に遊べる施設も少なく感じます。子育て支援センターはママ友クラブ？の人に占領され、行きづらかったです。そのため、いつも他市の遊び場に行き、そこで他市の人と知り合いになるような事が多かったです。地元民以外の、外から来た人が気軽に行ける場所が欲しいと感じました。
- ・地域経済の活性化に対する施策を補助金支給や地域観光などの一辺倒のもので終わらせるのではなく、将来持続性を見据えたさらなる支援の充実や子どもの経済教育・金融教育の機会の提供などがあれば、将来的な地域経済の活性化を狙っていることもわかるし、子育て世代にはささる魅力にもなると思う。
- ・素敵なところだったのでまた子育てが落ち着いてから住みたいと思う。
- ・丹波市からの方が通いやすい職場に異動になれば。制度面、環境面で子育てしやすい市になってほしい。
- ・子育てしやすい環境と介護に追われることのない施設。
- ・子育て支援の充実。

○ 医療・生活関連サービス・生活費

- ・生活していて思ったのは、車がないのでバス等の交通の便が良くなること。水道代やゴミ袋代が高すぎるのでもう少し生活者の負担が軽減されるといいと思う。
- ・賃貸マンションが相場より異常に高い。丹波のネームブランドがあるのに生かせておらずビジョンが見えない。
- ・水道料金とガス代が高い。
- ・市の行政サービス向上。丹波市の環境は良いが転入、転出の時の水道等の無駄な手続きが多い。効率化しないと生活が難しい。ゴミ袋は異常な値段
- ・働く世代が公共交通機関を日常生活で利用できるまで発達し、自家用車を持たずに生活できる環境になるなら。(大人だけでなく、子どもの自律や進学の制限・障害を減らす意味も含めて。)
- ・交通アクセスが良くなったら。電車1時間1本は少ない。
- ・交通の便が良くなれば(電車やバス)もう少し住みやすくなると思います。
- ・交通機関の見直し。(電車もバスも本数が少なく不便)
- ・医療の促進(大阪で里帰り出産時、大量出血で入院した。退院後、医師の判断により、丹波に救急救命医療がないため、長らく帰ることができなかった)
- ・医療の発達。
- ・産婦人科が増えたり、アフタースクールなどの充実した、出産、育児のしやすい環境になればいいなと思います。また、都市部へ通勤しやすいように電車の本数が篠山口程度に増えたら大きな魅力になると思います。
- ・医療体制や交通の便ももっとより良くなったら。

○ まちづくり

- ・今のままでも帰りたいと思います。ただ、同級生が半分以上丹波市を出ていると思うので、かつてすごく楽しかった小中高のメンバーが帰って来て集まれるような場所があるといいなと思います。私もそういう場所を作っていきたいと考えております。丹波市大好きです。
- ・若い人が主体の起業や町おこしなど少しでも町が活気付くような事などまたそういったことに理解があり協力して市として協力してくれれば挑戦はしたい。
- ・高齢者だけでなく若者世代の社会教育の推進などの政策があるなら、将来性を感じられる。
- ・10代から20代等の若者が経済的理由や文化的理由で追い詰められたり、無理を強いられる環境が改善され、丹波市で生活することが将来の希望につながるのであれば、戻ろうと思う。また、この魅力が住民発信で伝われば。
- ・男女共同参画だけでなく、その他のマイノリティも地域に参画できる機会があり、なおかつ一方通行の推進ではなく、誰もが(大人も子どもも分別なく)対等に対話できる環境や地域の受け皿が客観的に分かれば。
- ・地域間の教育機会格差などの教育課題を地域自治組織が認識し、住民の活動団体と連携しながら補完することができれば、地域で子育てしやすいと思うし、生活が想像できるので帰ることを考えるきっかけになると思う。
- ・若い世代を対象に成人式のような市が主催の同窓会があっても面白いと思います。

○ その他

- ・温泉があれば良いのではないかと思います。
- ・成人式などのイベントでは知り合いが多いのでそちらに行きますが、住むことはもうないと思います。
- ・実家への帰省。

- ・帰る事はないです。
- ・絶対帰ってきます。
- ・お金が貯まれば。
- ・地域性。
- ・Uターンで転出したので、行くことはあっても戻ることはありません。
- ・(警察にも何度も通報しましたが全く改善されず)夜中のバイクや車の騒音、氷上町稲継の商業施設に溜まって騒いでいる人達の声などが本当に迷惑です。営業が終わり次第、駐車場も封鎖してほしいです。いずれ丹波市に戻りたいと強く思っていますが赤ちゃんが欲しいと考えた時に騒音に悩まされたり、せっかく子どもを寝かしつけたかと思うと起こされるんだらうなという不安しかないので、二人目が欲しいと思う気持ちを邪魔されています。(現在子育て中ですが、実家に泊まった際に騒音で起こされています。)今住んでいるところは凄く静かで子育てがしやすいですが、やはり実家が近い氷上に住みたいと思っているので丹波市長さんには助けてほしいです。近所の方々もたいへん迷惑しております。氷上町はスーパーや飲食店も充実しており(飲食店はもう少し増やしてほしいですが)とても便利な町だと思っているので子育てもしやすいように対策してほしいです。よろしくお願い致します。
- ・主人の転勤で丹波市から転出しているので、住民として住む可能性は低い。
- ・コロナ禍で難しいとは思いますが、丹波市としてのイベントが少ない。昔から各町ではイベントをしているが、郡から市になって何十年と経つが未だに市全体のイベントやまとまりがないと思う。